



第125号



発行：西郷村企画開発課

印刷所：ワタベ印刷所

西郷村の人口及世帯数
(53. 10. 1現在)
世帯数 2,817 (-5)
人口 12,177 (+16)
男 6,060 (+11)
女 6,117 (+5)

昭和53年11月10日発行



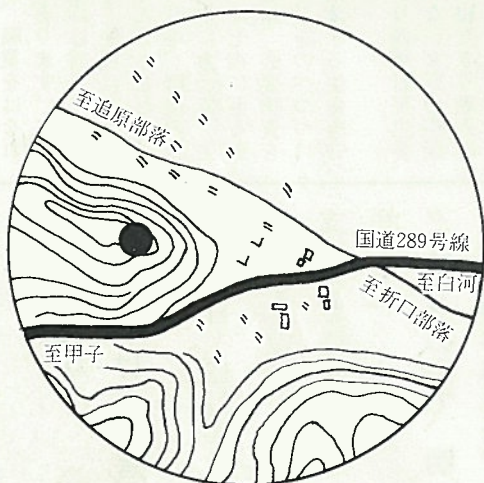
史跡名勝めぐり その八

折口の観音様

折口の観音様は、今から約三〇〇年前(延宝年間)折口新田を開いた榊原武助夫人が、新田鎮護のため勧請したものである。

そのむかし、部落の大火の際、前の沼の田螺が堂をかこんで鎮火したというので、つづ観音の名もあり、火伏の観音として信仰されている。

大正時代、山腹に村々の女人の発願により勧請した知名観音三十三体の石仏がある。三十三観音である。ここをお参りすると、四国三十三札所巡りの心願がかなえられるという。また、堂の東、山頂には、榊原武助吉当夫妻の事歴を伝える磨崖碑がある。



原中の伊藤キミさん 文化功労賞の榮譽に輝く



十一月三日、文化の日、村の文化功労者に、女性ではじめての榮譽に輝き、村長より表彰状と記念品が贈られました。

以下、その業績のご紹介をいたします。

伊藤キミさんは、明治四十一年十月十八日西白河郡(旧)大沼村久田野二十六番地において、父鈴木源四郎、母マセの長女として出生、昭和五年三月二十四



村長より賞状と記念品
を受ける伊藤キミさん

日、本村大字小田倉字原中二番地伊藤武雄と結婚三人の子女を生み、伊藤家に嫁いでより助産婦として現在に至っております。伊藤キミさんの今日に至る助産婦としての業績は、本村に嫁してからでも実に三四〇〇余人の赤ちゃんを手がけ、個人開業としては驚異的な実績を示しております。

この実績の奉仕範囲は、本村は勿論のこと栃木県那須地方にまで及び雨風をいとわず、極寒の夜もかえりみず自転車をはせ産婦と赤ちゃんの健康と生命を

守る懸命な姿は、職業をはなれた崇高なものであります。この真摯な姿には産婦は言うに及ばず、その家族や、住民にまで深い感銘の念をいだかせました。

なお、戦前、戦中、戦後の苦しい経済事情の中にあつて、生活困窮な家庭には七夜に至るまで無料奉仕は勿論、必要物資を持参して救いの手をのべつづけ社会人として活躍する生命を守つてきました。

昭和四〇年より西郷村民生委員として恵まれない家庭の相談相手となり、又寝たきり老人の慰問を行なうなどその活動も使命に徹したものであります。

こうした家庭からは慈母の如く慕われておることは永い業績から生れた伊藤キミさんの人徳を物語っているものであります。

伊藤キミさんのこの道一筋、人間愛に徹した奉仕の精神は、本村福祉事業の中にあつて特筆すべき大きな業績であります。

このことは本村の民生活動のあり方に大きな指標となつたことは、関係者のひとしく認めるところであります。

今回、女性ではじめて文化功労賞が授与されたことは、まことに意義深いことで、みんなでその榮譽をたたえましょう。

告昭和53年
歳末助け合い告

12月1日～12月10日
みなさんの温かいご支援をお待ちしております。

!!みんなの力で、明るい歳の暮れを!!

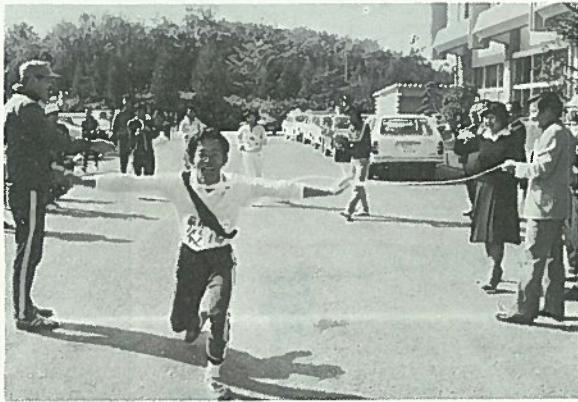


昭和53年度
福十字シール募金実施中





村長の号砲一発で一斉にスタート



最後まで激戦を展開する役場とフレンドチーム (後方女性ランナー)

女性ランナーがんばる！ 第20回村内一周駅伝大会

恒例の村内一周駅伝大会も数えること、第二〇回と記念すべき大会となりました。十一月三日、文化の日、この日は絶好の駅伝日和に恵まれ、村長の号砲一発、距離二十九・三キロの区間を競いスタートを切った。

今年大会は一般の部から多数の参加があり、例年になく、華やかな大会となりました。これにもまして、一般の部のフレンド

チームから、菊地和子さん、遠藤和子さんの二名が出場したことです。タイムも全員男性の役場チームと最後まで激戦を展開するとうりっぱなものでした。来年も多数の参加をと、大会関係者は呼びかけています。

順位
◎一般の部……一位〓日本工機 1時間51分50秒。二位〓三菱製紙 1時間54分36秒。三位〓川谷

小峰ライオンズクラブから でっかいプレゼント!

このたび、白河小峰ライオンズクラブから村にライトバン一台が寄贈されました。

これは小峰ライオンズクラブの事業として、村の広報活動に役立てて貰いたいと寄贈された

ものです。村では、これを住民福祉方面の広報や、お年寄り、病人などのお世話をするための巡回活動に使わせていただき、大変重宝しています。

青年会 2時間23秒。

1時間50分4秒

- ◎高校の部……一位〓中学OB 1時間42分55秒。二位〓S・N・H (白河農高・白河高合同) 1時間47分35秒。三位〓二中OB 時間49分52秒。
- ◎中学の部……一位〓二中A1 時間43分48秒。二位〓一中A1 時間46分3秒。三位〓一中B1 時間49分52秒。



寄贈された広報車

昭和54年度

保育所入所受付のお知らせ

昭和54年度保育所入所の受付を次の要領で行います。

なお、現在西郷村、川谷保育所に入所中の方も新たに申し込みをしていただく事になります。

◎入所定員
○村立保育所 (3歳未満児12名、3歳以上児48名)
○川谷保育所 (3歳未満児6名、3歳以上児54名)

◎用紙の交付と受付
役場住民課福祉係に備付けてありますので、必要事項を記入し、証明を受けて福祉係に提出して下さい。

◎申込受付期間
昭和54年1月8日から
昭和54年1月18日まで

◎申込資格
保護者の労働または疾病、災害等の事由により家庭での保育に欠ける幼児 (満一歳以上)

電話 5-212121
内線 30・31
有線 2101
2147

秋の全国火災予防運動



11月26日～12月2日

それぞれの持場で 生かせ火の用心

53年秋季全国火災予防運動標語

六分に一件の割合で火災が発生し、一日に六人が焼死、二十七人が負傷——これが今年一月～六月の「火災発生ペース」（全国）です。火災の発生原因は、相変わらず「たばこの不始末」が第一位を占め、死傷者では、老人と子供の増加がめだっています。

今年も十一月二十六日から十二月二日まで、秋の火災予防運動が行われます。

六分間に一件の割合 一日三億九千万円が灰に



るのでしょうか。

この六カ月で二万九千五百五十九むねの家が燃え、六千五万三千四百九十三アールの林野が焼け野原となっているのです。

損害額はなんと七百十二億六千二百六千円にのぼり、毎日三億九千三百七十七万七千円を灰にしているわけですから、ほんとうにもったいない話です。

増加する老人の死者 全体の三五%を占める

四万一千二百二十二件——これが、ことし一日から六月までの半年間に、全国で発生した火災の件数です。

これを一日当たりになおしてみると二百二十八件となり、六分間に一件の割合で消防車がサイレンをうならせているのです。

昨年の同じ時期に比べ、二千九百五件（七・六%）ふえています。

最近の火災による死者の傾向をみて注目されるのは、老人の占める割合が増加していることです。とくに寝たきり老人や、一人暮らしの老人の死者がふえています。

え移り、煙に巻かれて死亡——あるいは、一人でたき火をしていて、きものに火がついたが、体が不自由なために消すことができず、焼死してしまったなど、悲惨な例がめだっております。

こうした火災による死傷者は、一月～六月で、死者が千七百十五人、負傷者が四千九百二十四人——毎日、この日本列島のどこかで、六人の尊い命が矢われ、二十七人が負傷していることになりました。

老人が火災で亡くなるケースとして多いのは、就寝中に寝たきりの額がむなく灰になってい

ばこの火の不始末から寝具に燃

て、老人を火災から守りましょ

う。

●老人は避難しやすい場所に寝させる——いざというとき、階下の出入口近くがいちばん

安全です。
●冬場にむかい、老人は部屋に閉じこもり、ストーブなど暖房器具を独占しがちです。器



具の安全な使用方法とその特性について、よく説明しておきましょう。
●寝たきり老人で、やむをえず寝たばこをする場合には、必ず家族が付き添いましょう。
●老人の居室や寝具のまわりに、新聞紙や紙くずなど燃えやすい物を置かないようにしましょう。
●老人だけを残して外出する場合は、必ず隣近所にひと声かけて出かけるようにしましょう。

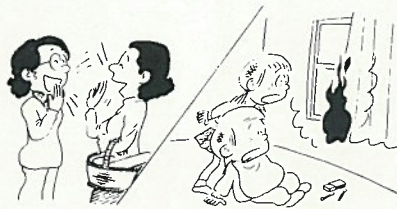
“子の犠牲” 保護者の不注意から

親の留守中に火災が発生し、出入口に鍵がかかっていたため焼け死んだり、深夜の火災で大人はかろうじて避難したが、行動力のない幼児だけが逃げ遅れてしまった。

●このような保護者の不注意による子供の犠牲者は、昭和五十二年中で二百八十人(十歳以下)もいます。なかでも五歳以下の幼児が二百七人の多数にのぼりました。結果となつています。何も知らない子供たちを“炎の犠牲”にするほど、残酷なことはありませぬ。ぜひ、次の点

を心がけてください。
●まだ歩けない乳幼児は、いつも保護者の近くに置いておきましょう。
●やむをえず子供だけを残して外出するときは、ストーブ、コンロなどは必ず消し、出入口の鍵は、万一の場合を考えて、内側からあけられるように注意しましょう。
●子供は火に対し強い興味を示し、ことに火遊びが好きです。火の恐ろしさについて、日ごろから十分教えておくことが必要で、とくに火遊びについ

ては、きびしくしつけるようにしましょう。



講演会のお知らせ

演題

“誰でもすばらしい頭になれる”



講師 長谷川 肇氏
とき：昭和53年12月3日(日)
午後1時30分～3時30分
場所：西郷村農民研修センター
入場無料

皆様に元NHKアナウンサー、長谷川肇モーニングショーでおなじみの長谷川氏による講演でございますので、多数ご聴講をお願いします。

主催 西郷村商工会
後援 西郷村

鈴木幸氏ら表彰される

第21回白河地区公衆衛生協力会大会 第20回白河地区衛生組織大会

去る十月二十七日、白河中央公民館で開催された第二十一回白河地区公衆衛生協力会大会、第二十回白河地区衛生組織大会の席上で西郷村から次の方々や団体が表彰されました。
◎鈴木幸氏は食生活改善推進員として、永年にわたり地域住民リーダーとして活動し、又各種検診事業推進に尽力されたため、公衆衛生事業功労者として、白河地区保健委員連合会より会長表彰を受けました。

◎西郷村連合青年会は環境衛
生事業として、村が実施している村内一斉清掃にボランティア活動の一環として廃品を回収し、美化運動に協力しているため、優良地区組織として同じく会長表彰を受けました。
◎助産婦の本間美代子さんは、白河地区助産婦会関係組合の役員として永年勤続し功績があつたため、公衆衛生功労者として白河地区公衆衛生協力会より会長表彰を受けました。

おめでとうございました。

わたくしたちと国民年金

国民年金は、農業、漁業、商業などの自営業の人、サービス業などの人とその家族のための年金制度で、歳をとったり障害者になったり、あるいはご主人が死亡され母子世帯になったりなどに年金を支給して、生活の安定を図ることを目的としています。

この制度には、必ず加入しなければならぬいわゆる当然加入と、希望することによって申出したときから加入することが

国民年金は、農業、漁業、商業などの自営業の人、サービス業などの人とその家族のための年金制度で、歳をとったり障害者になったり、あるいはご主人が死亡され母子世帯になったりなどに年金を支給して、生活の安定を図ることを目的としています。

この制度には、必ず加入しなければならぬいわゆる当然加入と、希望することによって申出したときから加入することが

俳句・川柳

朝霧に矢を射込みつつ陽の昇る
朝霧の立つや名荷の色を掴む
霧の見舞ふ畑のものみな疲れ
霧の濃き駅を人去り人来る
霧の海大きな朝日押し上げる
朝顔の蓄きりりと明日を待つ

公一 馬鈴薯の百態のぞく厨かな
東仙 嫁姑心汲み合おう寡婦同士
周平 イヤリングがしげる度に笑つ
千代子 老いの耳に似合わぬ見栄をぶ
興子 文子
源次郎 秀石

野良帰り桔梗を手折る妻を待つ
末男 露草や瑠璃を蓄え路傍に満ち
和英 朝売りにまけて財布の口開き

すすき野の思い出は今住宅街
すすき野の減びの糸を誰が引く
放つといすすきの名所とは
やされる 酒泉
野仏のほほを撫でてるすすき
の穂 栄子
戦場ヶ原へ客を招いたすすき
の穂 京子



国民年金の給付は、老齢、障害、母子世帯になったときなどに支給されるものです。(つづく)

国民年金課 電話5-21-21
21 内線30・31番 有線2147・2101

国民健康保険が9月中に支払った 医療費等の状況

区分	件数	支払額	支払額の対前月増減
		円	円
医療費	入院	107	14,062,370
	入院外	2,428	12,671,229
	歯科	355	2,037,091
	計	2,890	28,770,690
高額療養費	81	2,504,063	157,010
助産費	6	360,000	△180,000
葬祭費	7	70,000	40,000
合計	2,984	31,764,753	3,980,589

9月中に納入された国保税
10,632,510円

おめでたかなし

かなしみ

おめでた (9月分届出より)

氏名 保護者 部藤 氏名 年齢 部落

鈴木 明美 (幸一) 米 近藤 モト 74 歳 上羽太
影山 晴美 (英男) 下折口原
菊地 幸太郎 (政一) 上新田
大原 明 (悟) 下新田
千葉 和広 (守) 原 中 増田 ヒサ 79 歳 さつき荘
鈴木 淳 (勝晴) 下羽太 玉山 ヒサ 79 歳 さつき荘
長南 誠 (光男) 米 永山 フヨ 91 歳 やまぶき荘
小林 央明 (修一) 上新田 田野 信光 79 歳 やまぶき荘
遠藤 裕子 (幸男) 種畜牧場 佐藤 トリ 81 歳 熊倉
中澤 薫 (守) 米福山村住 加藤 岩太 88 歳 原中
星 真弓 (一二) 川谷村住 中村 一郎 83 歳 やまぶき荘
円谷 陽子 (文雄) 上折口原 梅治 74 歳 さつき荘
梅本 隆宏 (高男) 大平 鈴木 71 歳 下羽太

かなしみ

鈴木 宏士 (廣吉) 下新田
和知 あゆみ (七郎) 柏野
松澤 由里子 (国光) 下折口原
尾服 裕美子 (澄義) 上折口原

文化賊だより

西郷村と文学

その二

阿武隈川水源の仙境

一、甲子温泉 大町桂月

『白川へ至りて甲子の山見ざらむは、孔子の門過ぎて入らざるが如し。甲子の山へ到りて楓葉の景見ざらむは、堂に至りて室に入らざるが如し』とは、白河楽翁公の記せる所也。夏の事とて、その所謂、室には入るを得ざれど、いざ往いて堂に上らむ哉。

一家一族あはせて九人、午後十一時発の汽車にて上野を発し、暁の四時半白河駅に着し、駅前の旅店に朝食し、『馬あるか』と問へば、『前夜より注文せざれば弁せず』といふ。『さらば行ける処までは』とて人力車五台を雇ひて、女連三人と四男の九歳なると荷物とを之に載せ、われは長男、次男、三男、義甥と共に徒歩す。橋なき川もあり、路悪しく、車行、人行よりもおそし、空曇りて、雨、をりて到る。時鳥数声鳴く。歌の上へのみ知りて、まだ実際に聞

きたることなき妻に知らせばやと思ひて、その車を待ちあはせ、又鳴くかと待てば、生憎鳴かず。鶯の谷渡りの声、絶えてまた続く。路傍に二三軒の家を見るのみにて、一望唯々草と木のみを見る。高原、田となりてまだ久しからざるを覚ゆ。山迫り来りて、四五軒の人家、路を夾む。ここは折口とて、白河を距ること二里也。人力車これよりは行かれずというに、車上の人々も下りて、共に一店にて休息す。雨甚しくなりぬ。携へたる握飯を午食に充つ。『馬あるか』と問へば、『馬はあれども馬子あらず』といふに、荷物は翌日馬に運ばせることにして、一同雨を衝いて、山路をゆく。

油紙背にかぶりてとほ／＼と雨に山ゆくをさな見あわれ店とは折口のよしのや商店である。当時の交通状態がよくうかがわれる。

男女老若入りまじりての歩行に、路は抄らず、相逢ふ馬はみな牝馬にて、いずれも子馬をつれたり。子馬をり／＼立とまりて、母馬の乳を飲むさま、いと可憐也。四男特に笑ひ興ず。そ

の笑ひ興ずるを見て、われは更に又笑ひ興ぜざるを得ざりき。子をつれて我も越えゆく山道に子をつれてくる馬もありけり山路とは言へど、野の名残り留めて、傾斜は急ならず。少し上るかと思へば、また平地あり。幾陳のトタン屋根の大きな馬小屋を左方数町の外に見る。このあたり一面、軍馬補充部白河支部の牧場に属す。路平らかなるかと思へば、また上る。渴を覚ゆる頃、少しばかりの平地ありて、一株の老松の下に清水湧く。ここを高清水と称す。晴る日は、白河の市街が見渡さると聞く。

鳥居平を経て馬立に至る。折口より三里也。唯々一軒の休小屋あり。就いて休息す。ここまで馬を通ず。ここより温泉まで一里、馬を通せざるにあらざれども、路危険なれば、荷物のみを載せて、人を載せず。両山相迫つて、一条の阿武隈川のみを刺す。木立も茂れり。楽翁公の命名したりと称する不動滝を左に見、楽翁公を出迎へたりと称する出迎坂を下りて、釣掛橋に至る。見上ぐるばかりの巨巖、奔湍を夾んで直立し、恰も関門の如し。左巖は樹に埋められたるが、右巖は骨を露はせる部分多くして、長さ五六十間に及ぶ。棧道ありて、□にんを通ず。釣掛橋とは、その棧道の名也。『もうすぐ／＼』と弱れる女子共を励ましつづ、午後五時に至りて、甲子温泉に達す。温泉宿は唯一軒なるが、凡そ一町の間、左右に二階三階相連なりて、山中に小部落を成し、数百人を容るるに足る。溪流を余して、四面みな山。山の傾斜急にして、見渡す限り緑樹うっそうたり。温泉の質は鹽類泉にして、華氏百二十度の温度を有し、湯坪は二三十坪の大きさあり。宿の入口



村の辻の道しるべ



甲子剣桂神社

にも門あり。入口は衡門也。出口は偉大なる屋根門なるが、その左右に室ありて、恰も寺の仁王門の如し。余はその右室を占めて、呷の仁王となる。………峯巒四面鬱崔嵬。一道溪流排霧來。更想晚秋霜葉際。勝花亭上独銜杯。………

大町桂月はこの山里の甲子温泉に二十日あまり滞在し、ひなびた温泉宿や、素朴な村の湯治客たちとの語らいに十分満足した。ただ酒豪であった彼は、時折品切れになる酒には閉口した。この滞在の間、彼は山に登り大熊滝や坊主沼なども訪れている。『一里来て追ひて漸く別れけり 二十日なれにし湯の宿の犬』と詠んで、彼の甲子温泉紀行は終わっている（『桂月全集』第二巻）。

税務署だより

十二月は、サラリーマンの年末調整が行われる月です。サラリーマンの所得税は、毎月の給料やボーナスの支給のときに差引かれています。しかし、差引かれた税金の合計額と、一年間の給与総額に対する税額は一致しないのが普通です。このため、その年最後の給料などが支払われるとき、その差額を精算します。これが年末調整です。年末調整では、扶養控除や生

命保険料控除、二年目以降の住宅取得控除などが行われますが、これらの控除の金額は、サラリーマンの皆さんが勤務先に提出する各控除申告書によって計算されますので、誤りのない申告をすることが大切です。また、災害や盗難にあつて雑損控除が受けられる人、多額の医療費を支払っているために医療費控除の受けられる人、今年初めて住宅取得控除を受けようとする人などは確定申告が必要です。詳しくは最寄りの税務署か税務相談室にお尋ねください。

簡易保険から米寿者に 記念品おくる

白河郵便局(菅原義亮局長)ではこの程、西郷村の米寿を迎えられた方々に郵政大臣から記念品を贈り長寿をお祝いいました。

これは大正五年十月簡易保険が創業されたことから十月を簡易保険の月として毎年これを記念して贈呈しているものです。今年の贈呈者は次の方々でした。

伊東コト(羽太) 高崎兼次郎(

折口原) 加藤岩太(原中) 鈴木キク(大清水) 星房治(上野原) 磯目カク(勝負沢) 上田真太郎(上野原) 茂木栄(上野原)

「はがき」で新型消化 バケツを当てよう!

あなたは、昭和53年秋季全国火災予防運動の標語を知っていますか。

福島県と福島県消防協会が共催で昭和53年秋季全国火災予防運動の統一標語を広く県民の皆様知っていただくため、懸賞

を行っています。

(応募要領)

官製はがきに、昭和53年秋季全国火災予防運動統一標語と郵便番号、住所、氏名、年齢、職業を明記し、12月5日(当日消印有効)までに〒906福島市中町5の21 福島県消防協会 火災予防懸賞係までお送り下さい。なお詳細については、役場防災係 電話512121内線59番 有線2111までお問い合わせ下さい。

献血に感謝!

- 日本工機KK白河工場
- 三菱製紙KK白河工場
- 那須・甲子少年自然の家

ご協力ありがとうございました。



農作業も一段落し、また活動に打ち込めることと思います。

●南郷村青年会との交歓会

先日、川谷・原田氏より、南郷村青年会との交歓会を紹介していただきました。南郷村青年会では、今月十八日、十九日両日、甲子温泉に一泊研修に来る予定です。本会との交歓は十八日に予定しています。

本会は、交流、交歓の機会をもつことが少ないだけに、大切にしていかなければならないと思います。南郷村青年

はばたく連青

会会長の塚氏は、本会会長が若人の翼で道々しているとのことです。

ぜひ、こういう機会に、地域の青年と交流し、意見を交換していただければ幸いです。

●ダンス講習会の開催について

(11月14日~12月23日) 本会では、11月14日より12月23日まで、ダンス講習会を予定しています。週二回、火曜日、木曜日です。講師の方を依頼し、社交ダンスから最近のディスコ

まで幅広い中で、覚えやすく、楽しめるものと考えています。講習場所は、昨年と同様、生活改善センター2階と農民研修センターを予定しています。そして、講習会の総まとめの意味で、12月23日頃に、クリスマス・ダンスパーティーを農民研修センターを開きます。講習会で

●三周年記念大会について

11月7日(火)公民館において、役員会を開きましたが、会の集まりが悪く、ひじょうに残念でした。本会では、将棋、囲

●会規約の改正について

本会では、青年会の会規約の内容を検討し、連合青年会規約改正に取り組んでいます。会員の規約ですので、会員の数多い意見を待っています。